



通算第38号

1964~65-2-17

函館北ロータリークラブ

第35回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

ない。色々な調査によつても、函館市は伸びていることがわかる。大きな力を持つているのに、それを結集する力に欠けているのが函館市の実態ではないかと思う。皆様方は道南の価値を再認識されて、前向きになつていただきたい。私共役所の力だけでは自づと限界があり、民間の皆様方、特に市のリーダーとしてのロータリー・クラブ、或はライオンズ・クラブ、商工会議所等の方々の大いなる御努力をお願いする次第です。

謝 辞 新 会 長

私共にとり心強い、有益なるお話で、明るい希望——ビジョンを強く抱くことが出来た次第です。どうも有難うございました。

お知らせ

(1) 富山南R.C.チャーター・ナイトを4月11日行います。申込は2月28日迄。

(2) 『ロータリアン』誌週間(1月24日~1月30日)

1952年6月までは日本のロータリーは全国一区のガバナーの下に全国的な連絡が取れておつたが、同年7月から2区に分割され、全国的な見通しが出来なくなつたので、共通の雑誌を作ることに相談がまとまり、諸般の準備を整えて翌年1月から発刊された。現在の月刊誌「ロータリーの友」は、R.I.のRegional Magazineとして公認され、各区から選ばれた編集委員合議の下に、7名のスタッフがその編集事務に当つている。

(3) ロータリー創立週間(2月21日~2月27日)

ロータリー創立記念日(2月23日)

(4) 世界理解週間(3月14日~3月20日)

この週間に国際奉仕プログラムを一斉に実行するように世界中のロータリー・クラブに参加するならば、世界平和の促進に意義ある貢献ができます。このためには、多くの計画が必要でありますから、今がその準備にとりかかる時機であります。国際ロータリーから送付される国際情報委員会資料は世界理解週間用の多様のプログラムを示唆しています。

出席報告

会員数29名 当日出席14名 他ク出席5名 計19名(65.52%)

次回(2月10日)のプログラム 映画(題未定)

本日のプログラム

1. 映 画 ロータリーの現況
2. 記念講演 伊部・バスター・ガバナー

司 会 新 会 長 齊 唱 手に手つないで

ビジター 谷 義一君(森R.C.)

伊藤 善吉君他15名(函館R.C.)

渡辺熊四郎君他10名(函館東R.C.)

会 長 報 告

1. ガバナー公式訪問は3月10日、チャーター・ナイトは5月9日と決定しました。又公式訪問についてのアツセンブリーを2月23日に行います。
2. R.I. 会長より『世界理解週間』に関しての書簡が参りました。(回覧)
3. アメリカカリフォルニア州のサンディゴ、ヘースリックビーチR.C.から、函館北クラブの誕生に対し親愛の意をこめた手紙が参りました。パーラー・マッターR.C.の時と同様、国際奉仕委員長より応答をお願いします。

幹 事 報 告

1. 次の例会は23日(火)に合同例会となりますのでお間違いなきよう。
2. 入会の時いただくことになつていたロータリー奨学資金3600円をお払いこみ下さい。古い会員の方は250円のみです。
3. 2月23日午後6時より『館』に於いてクラブ・アツセンブリーを行いますので全員御出席下さい。議題はガバナー公式訪問にそなえてのものです。各委員会の上半期の実績と今後の計画表が必要ですので、未提出の委員長の方々は必ず当日迄に作製して御持参下さい。
4. 東城(広島県)R.C.5月16日に、岡崎南R.C.4月25日にチャーター・ナイトを行います。
5. 新入会員候補者発表 堀 数馬君 末続 吉間君(共に遠藤会員推薦)

ス ピ ー チ 最近の経済問題について、日銀函館支店長 伊藤善吉氏 ロンドンのフィナンシャル・タイムズ2月1日号に、ロンバート氏の昨年の各国経済状態の評価がのつていました。彼によると、

1. 昨年の『最優秀通過賞』はイタリアである。年間10億ドルの赤字を出していたのに、昨年は6億ドルの黒字であつた。イタリアは科学、刑法等に勝



通算第39号

1964~65-2-23

函館北ロータリークラブ

第36回例会

函館3クラブ合同例会

於 五 島 軒

12.30~13.30

本日のプログラム

1. 年次総会

2. 卓話 俣野会員

- ◆ 斉 唱 “君が代” 手に手つないで
- ◆ 乾 杯 新函館北R.C.会長の音頭で、R.I.の発展を祝福して。
- ◆ 新函館北R.C.、会長挨拶
私共の北R.C.は、来る5月9日にチャータ・ナイトを行うことに決定しました。R.I.60才(還暦)の時に生まれた小供であります。皆様方の御声援と、チャーター・ナイトへの多数の御出席をお願いします。
- ◆ 相馬函館R.C.、会長挨拶
 1. R.I.60周年記念日であるので、初めての試みとして3クラブ合同例会を行つたところ、非常に和やかな良い雰囲気であり、今後年に二三回実施してはとの意見も出ております。
 2. ガバナー月信が参りましたので主要事項のみ御報告します。
イ 上士幌仮R.C. 例会火曜日 於帯広信金上士幌支店
ロ 第350地区奨学生(新出君)決定。
ハ 函館3クラブのガバナー公式訪問日がままりました。北クラブは3月9日アツセンブリー、翌10日公式訪問です。
 3. R.I.創立60周年記念にあたり、R.I.ベツテンギル会長よりメッセージが来ておりますので朗読致します。
 4. 1966~67年度R.I.会長はリチャード・L・エバンス氏。
 5. R.I.の現況 127ヶ国 18,989クラブ 約564,000人
- ◆ 幹事報告(代表 函館ク 高木 幹事)
 1. ガバナー公式訪問に関し御相談したいので、例会終了後各クラブの会長、副会長、幹事、プログラム委員長の方々はお残り願います。
 2. 3月10日18時30分より五島軒に於いて、ガバナーの合同歓迎会を行いますので、各クラブ各委員会より1名以上の御出席をお願いします。
 3. チャーター・ナイト案内 飯能(4月7日) 春日部(5月6日) 静岡南(5月9日) 草津(5月10) 秩父(5月15日)

れた立派な国ではあるが、それにしても16億の逆転とは驚ろきである。その理由は、イタリア中央銀行総裁が常に苦しい説明をし、為に各国が同情し、殊にE.E.C諸国の協力が今日の姿をもたらしたと考えられる。

2. 次にロンバート氏は日本に3年連続「大胆不敵賞(蛮勇?)」を与えている。つまり、ハラハラするような経済成長率を示しながら、又国際収支についても危険性を持ちながら、インフレをどうにか食止めているとの意味の様です。

3. イギリスに対しては「最大失望賞」が与えられました。イギリスは目下ボンドの切下げが行われるかどうかが大問題である。日銀総裁はその様な事態が来ない様に祈るとの談話を発表しているが、少しく私見を述べさせていただきます。先ず2月末に30億ドルの借入金の切替継続が行われるか否かが問題である。次にフランスが強い態度に出られぬ状況である。又平価切下げは国内生産に大きく影響し国民の不幸を招く。結局イギリス政府としては、余程大きなショックのない限りボンドの切下げは行わないであろう。

4. 以上世界の三つの例を申し上げたが、それでは日本経済の将来はどうか。一応日銀としての見直しをお話する。最近公定歩合が引下げられ、社会の士気を鼓舞した感がある。然し国際収支は年間6億ドルの赤字である。この赤字をどうするか問題である。参考までに申し上げますと、輸出の伸びは39年度2.2%、40年度は1.1~1.2%と予想され、75億ドルと考えられる。一方39年度の輸入は66億ドルで、40年度は9%程度の伸びが可能となる。尚今年の国民総生産の伸びは1.5%であつた。又物価の上昇率は36年5.2%、37年6.2%、38年7.9%で、39年は公共料金値上げストップのため4%に止つた。兎も角今後の日本経済は、一定した基準をもつて運営されるべきである。

5. 物価上昇抑制に対して諸外国の政策は強烈である。何れの国もインフレを恐れている。日銀の考え方も例外ではあり得ない。私達は色々な困難を克服して、日本の物価の安定をはかりたいと念願している。

◆ 出席報告(前回分)

会員数	28名	当日出席	20名
他ク出席	2名	計	22名(78.57%)
参考:	函ク	93.46%	
	函東ク	89.39%	

◆ 次回(3月3日)のプログラム

1. 年次総会
2. スピーチ “俳句について” 俣野会員